

式 辞

ただいま、中学校七六名・高等学校四三七名の生徒の入学を許可いたしました。保護者の皆様、ご子息・ご令嬢の入学、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。新入生の皆さん入学おめでとう。

通常であれば、多くのご来賓のご臨席を賜り、中学校第十一回・高等学校第五三回入学式を一同に挙行するところでありましたが、コロナ禍ゆえの対応、午前・午後の分散、時間短縮での実施とさせていただければ幸いです。

さて、二松学舎は明治一〇年以来、今年創立一四四年の歴史と伝統のある学校です。皆さんがこうした本校の一員として、誇りと自信を持って充実した中学校・高等学校生活を送ることを、我々教職員は強く願っております。

。

今新入生の皆さんは、新たな出発に向けて大きな夢と希望で満ちあふれていることでしょう。また新学期に対する期待と緊張そして不安が入り交じり、感慨ひとしおのことと思います。中高の時期には、自分を見つめる目もでき、心身ともに大きく成長し、人生の大切な基礎が作り上げられます。限りない可能性、それは皆さんの一人ひとりが持っている若さの特権でもあります。またこの時期の友人は人生の宝であり、青春の証となるものです。出会いを大切にしていただきたいと思います。本校は校訓である、仁愛（人への思いやり）・正義（人間のふみ行うべき正しい道）・誠実（うそ偽りのないまごころ）の精神、教育目標である（自律をはかり、主体性を身につける）（思いやりのある人間性を身につける）（社会への関心を高め、豊かな国際性を身につける）を大切に、一人ひとりが夢や希望を見つけ、それに向かってまっすぐに進んでいける確かな学力と強い心、そして

自分の考えを正確に人に伝える表現力と、相手の気持ちを理解できる思いやりあふれた温かな人間性を身につけることを教育の特色としております。目標に向かい大いに頑張り、充実した中高生活を送っていただきたいと願っております。

また、本校では皆さんが学ぶ『論語』より自ら考え行動できる能力を鍛え、社会に貢献する人物を養成するという理念を大切にしました。人格教育を実践しております。NHKの大河ドラマ「青天を衝け」の主人公であり、二〇二四年度から発行される新しい一万円札にその肖像が採用されることが決まった渋沢栄一。大正八年（一九一九）八月に、二松学会の舎長・理事に就任されております。ご存じの「論語と算盤」からも感じとるものがあります。皆さんが学ぶ論語に「歳寒くして、然る後に松柏の彫むに後るを知る」とあります。一年で一番寒い時期になり、そこではじめて松や柏が落葉しないことに気が付く。人も大

事に遭遇してはじめて、その人の本当の価値が現れるというものです。レジリエンス（復元力）を備え、力強く成長してください。以上、本校での生活が実り多いものとなります。ますことを重ねて祈念して式辞といたします。

二〇二一年 四月七日

二松学舎大学附属柏中学校・高等学校

校長 七五三 和男